

コ ー ス	細胞社会学 (Cellular Interactions)		
学年・期・単位	第2学年・後期・1単位	科目担当責任者	湯山 徳行 (生体機能学講座 生理学分野・准教授)
オフィスアワー	火・水・金曜日午後～夕方 (第1研究棟6階生理学教室)	メールアドレス	yuyamano@kdcnet.ac.jp
一般目標 (GIO)	<p>ヒトの身体の機能は、1つの細胞だけでは機能しない。複雑な機能の発現には、多くの細胞のネットワークが必要となる。特に、口腔の機能は、呼吸器、消化器、発声器、感覚器の役割をもち、感覚系、運動系、神経系を含めた、複雑な細胞ネットワークによって構成されている。歯科医療に重要な咀嚼、咬合、嚥下、発声、唾液は感覚系、運動系および中枢神経系との密接な協調運動によって成り立っている。ヒトの顎口腔顔面の機能を理解するために、基本的な運動機能の発現様式、顔面頭部にある特殊感覚、自律神経の活動、脳における情報処理を含めて、複雑な機能を多方面から理解し、修得する。</p>		

講義ユニット	一般目標 (GIO)
1. 顎顔面口腔の感覚機能	顎顔面口腔領域の感覚の意義・機能・神経機構を理解する。
2. 顎顔面口腔の運動機能	顎・顔面・口腔運動の意義・機能・神経機構を理解する。
3. 口腔の消化機能	食物の口腔内消化に関わる神経機構および唾液の機能を理解する。

教科書		
書名	著者名等	発行所
口腔生理学サイドリーダー (第4版)	湯山徳行	学建書院

参考書		
書名	著者名等	発行所
基礎歯科生理学 (第5版)	中村嘉男、森本俊文、山田好秋 編	医歯薬出版
ビジュアル口腔生理学 (第1版)	浅沼直和 他	学建書院

評価法 (EV)
出席点 (5%)、小テスト (10%)、後期本試験 (85%) による総合評価。

授業計画						
回	日付	ユニット	行動目標 (SBOs)	学習方略 (LS)	授業担当者	コアカリ/国試出題基準
1	9/7	顎顔面口腔の感覚機能	1. 口腔機能の特徴について説明できる。 2. 口腔・顔面の皮膚および粘膜の体性感覚の受容機構について説明できる。	P150～153 配付資料およびパワーポイント、板書によりポイントを解説する。	湯山徳行	F-2-2)-①② 必6-B-a～e 総IV -3-M, N
2	9/14		1. 口腔の体性感覚の特徴を部位ごとに説明できる。 2. 歯根膜における感覚受容機構を説明できる。	P150～153 配付資料およびパワーポイント、板書によりポイントを解説する。	湯山徳行	F-2-2)-①② 必6-B-a～e 必6-C-f 総IV -3-M, N 総IV -4-H
3	9/21		1. 歯髄感覚の受容機構を説明できる。 2. 象牙質感覚の受容機構を説明できる。 3. 歯髄に起因する歯痛のメカニズムを説明できる。	P150～153 配付資料およびパワーポイント、板書によりポイントを解説する。自己評価のために小テストを行う。	湯山徳行	D-4-6) F-3-1)-④ F-3-2)-⑥ 必6-C-c～f 総IV -4-D, E
4	9/28		1. 顎筋・舌筋の深部感覚の特徴と神経機構を説明できる。 2. 顎関節感覚の神経機構を説明できる。	P150～153 配付資料およびパワーポイント、板書によりポイントを解説する。	湯山徳行	F-2-2)-①② 必6-B-a, h 総IV -3-C
5	10/5	顎顔面口腔の運動機能	1. 味覚器の構造を説明できる。 2. 味覚受容機構を説明できる。 3. 生理学的特性を説明できる。	P179～184, P57 配付資料およびパワーポイント、板書によりポイントを解説する。	湯山徳行	D-2)-3)-(4)-④ F-2-2)-② 必6-B-a, b 総IV -3-L
6	10/12		1. 味覚伝導路を説明できる。 2. 味覚不全を説明できる。 3. 嗅覚器を説明できる。 4. におい物質、フェロモンについて説明できる。 5. 嗅覚の受容機構を説明できる。	P179～184, P57 配付資料およびパワーポイント、板書によりポイントを解説する。自己評価のために小テストを行う。	湯山徳行	D-2)-3)-(4)-④ F-2-2)-② 必6-B-a, b 総IV -3-I, L
7	10/19		1. 咀嚼筋の運動機能について説明できる。 2. 咀嚼の役割を理解し、その制御機構を説明できる。 3. 顎位、限界運動について説明できる。	P159～165 配付資料およびパワーポイント、板書によりポイントを解説する。	湯山徳行	F-2-1)-② F-2-2)-③ 必6-B-d 総IV -3-A
8	10/26	顎顔面口腔の運動機能	1. 顎反射の神経機構について説明できる。 2. 顎運動と口腔感覚との関係について説明できる。 3. 下顎運動を制御する中枢機序を説明できる。	P158～165 配付資料およびパワーポイント、板書によりポイントを解説する。	湯山徳行	F-2)-1)-②、⑤～⑧ 必6-B-b, d 総IV -3-A, K
9	11/2		1. 舌の運動機能を説明できる。 2. 咀嚼能率を説明できる。 3. 咬合圧・咀嚼圧について説明できる。	P166～172 配付資料およびパワーポイント、板書によりポイントを解説する。自己評価のために小テストを行う。	湯山徳行	F-2-1)-②⑤～⑧ F-2-2)-② 必6-B-a, b 総IV -3-F
10	11/9		1. 表情筋運動(口唇、頬を含む)の特殊性を説明できる。 2. 表情筋の神経制御機構を説明できる。	P166～172 配付資料およびパワーポイント、板書によりポイントを解説する。	水野潤造	F-2-1)-② 必6-B-a, d 総IV -3-F, G
11	11/16		1. 吸綴の意義・動作・神経機構を説明できる。 2. 嚥下・嘔吐の意義を理解し、その制御機構を説明できる。	P185～188 配付資料およびパワーポイント、板書によりポイントを解説する。	水野潤造	F-2)-1)-⑧ 必6-B-c 総IV -3-D, G, H
12	11/30	口腔の消化機能	1. 発声および構音の神経機構を説明できる。 2. 呼吸、嚥下、発声、吸綴時の鼻咽腔閉鎖状態を説明できる。	P189～191 配付資料およびパワーポイント、板書によりポイントを解説する。自己評価のために小テストを行う。	水野潤造	F-2-2)-⑦ 必6-B-b 総IV -3-J
13	12/7		1. 唾液の成分と機能を説明できる。 2. 唾液腺の構造と機能を説明できる。	P173～178 配付資料およびパワーポイント、板書によりポイントを解説する。	湯山徳行	F-2-2)-④⑤ 必6-B-b 総IV -3-O
14	12/14		1. 唾液腺の神経支配および制御機構を説明できる。 2. 唾液分泌不全について説明できる。	P173～179 配付資料およびパワーポイント、板書によりポイントを解説する。自己評価のために小テストを行う。	湯山徳行	F-2-2)-④⑤ 必6-B-c 総IV -3-O
15	12/21 (調整期間) 2限目		食欲の発現機序を説明できる。	P28, P126 配付資料およびパワーポイント、板書によりポイントを解説する。	小野塚実	D-2)-3)-(6), (8) 必6-B-b 総IV -3-D, E, F